

複雑性 PTSD の症状クラス分類と心理的要因の関連

○中山義朗¹・井瀬戸円香²・井伊藤大輔¹

(¹兵庫教育大学大学院学校教育研究科・²(株)LITALICO)

問題と目的

複雑性 PTSD (Complex Post-Traumatic Stress Disorder; C-PTSD) の発症には、幼少期の逆境体験 (Adverse Childhood Experience; ACEs) の累積が関連している (Rzeszutek et al., 2024)。また、C-PTSD の特徴でもある自己組織化の問題 (Disturbance of Self-Organization; DSO) は、セルフ・コンパッション (Self-compassion; SC) と負の関連がある一方で (Karatzias et al., 2019)、トラウマ経験者はコンパッションへの恐れ (Fear of Compassion; FC) を抱くことも示唆されている (Gilbert, 2019)。

そして、C-PTSD が単一の障害ではなく、異なる症状クラスを持つことが先行研究で示唆されている (Redican et al., 2022)。そこで、本研究は、複雑性 PTSD の準臨床群を対象とし、C-PTSD の潜在クラスを同定した上で、それぞれのクラスが ACEs の累積数と、SC および FC とどのように関連するかを明らかにすることを目的とする。

方法

研究協力者：適格基準は、18 歳から 65 歳のうち、少なくとも一回の外傷体験を報告し、C-PTSD の症状を測定する ITQ 日本語版のカットオフ値を超える者とした。除外基準は、最近入院したか、集中的な在宅治療が必要な精神状態にある者、日本語の読みができない者、現在に影響を及ぼしている外傷体験を経験してからの経過日数が 1 ヶ月未満である者であった。

調査材料：デモグラフィック項目 (年齢、性別)、潜在的トラウマ体験を測定する LEC-5 (Weathers et al., 2013; 飛鳥井・筒井, 2018)、ITQ 日本語版 (Cloitre et al., 2018; 金 他, 2018)、小児期逆境体験を測定する ACE 質問票 (坪井, 2014)、SC を測定する SCS-J (有光, 2014)、FC を測定する FCS-J (浅野, 2017)

倫理的配慮：研究実施機関の倫理委員会の承認を得て実施された (承認番号：第 2024-14 号)。

結果

201 名 (男性 101 名、女性 93 名、その他 7 名 43.40±12.5 歳) のデータを分析に用いた。まず、ITQ を用いて潜在プロファイル分析を行った結果、PTSD および DSO スコアが共に高い重症群、中程度の中症

状群、低い軽症群の 3 クラスが抽出された。群を独立変数、ITQ を従属変数とした分散分析の結果、PTSD ($F(2,198)=229.9, p<.001, \eta^2=.70$)、DSO ($F(2,198)=269.7, p<.001, \eta^2=.73$) スコアともに有意な群間差が認められた。事後検定の結果、全てのクラス間で有意差が示された ($ps<.01$)。

次に、これらのクラスを目的変数、ACE スコア、SCS 得点、FCS スコアを説明変数とした多項ロジスティック回帰分析を行った (Table 1)。その結果、重症群では、SCS スコアは有意な負の関連を示し、SC が高いほど重症群に属する確率が低くなる傾向がみられた。また、FCS スコアは有意な正の関連を示し、FC が高いほど重症群に属する確率が高くなる傾向がみられた。そして、ACE スコアが有意に正の関連を示し、ACEs が多いほど重症群に属する確率が高くなる傾向がみられた。一方、中症状群では SCS スコアのみ有意な負の関連が示し、SC が高いほど中症状群に属する確率が低くなる傾向がみられた。

考察

C-PTSD 症状が「重症群」「中症状群」「軽症群」の 3 クラスに分類されたが、先行研究 (Redican et al., 2022) とは異なる分類結果であった。先行研究においては、ITQ のスクリーニングを問わずトラウマの経験がある者を対象にしていたが、本研究においては、ITQ のカットオフ値を超えた者を対象にしたことが影響したと考えられる。そして多項ロジスティック回帰分析の結果、ACEs と FC が重症化のリスク要因である可能性が示された。一方で SC の高さが保護要因であることが示唆された。したがって、重症群に対して、SC をターゲットとし治療を実施する場合、まず FC を低減することが治療効果を最大化する上で重要な要因である可能性が示された。

Table1 多項ロジスティック回帰分析

クラスター	高症状群		中症状群	
	OR	95%CI	OR	95%CI
SCSスコア	0.95**	[0.92, 0.99]	0.96**	[0.93, 0.99]
FCSスコア	1.04**	[1.02, 1.07]	1.01	[0.99, 1.03]
ACEsスコア	1.21*	[1.01, 1.45]	1.07	[1.02, 1.07]

Note. ** $p < .01$, * $p < .05$, 参照クラス：低症状群